

すえつく精一  
後援会会報

# まっすぐ国政報告通信

第1号  
令和4年4月1日発行



## ごあいさつ

### 初当選にあたり

末次精一です。皆様には、9年前に突然県議会議員を辞職して以来、長くご心配やご迷惑をおかけして御座りましたが、昨年10月の衆議院議員選挙では、皆様の多大なるご支援により九州比例ブロックより初当選させていただきました。これもひとえに皆様のお力のおかげであります。これまでの

皆様の長年にわたるご声援とご厚情に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

ただただ残念であったことは、選挙区(長崎4区)では391票差で敗れたことです。この結果は私の力不足によるものであり、皆様には申し訳ない気持ちでいっぱいです。しかし、今はこの悔しさをバネに、次回は必ず選挙区で勝利するぞという強い思いを胸に日々活動を続けております。改めて、後援会の皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 国会報告

さて、遅咲きではありますが私の国会議員としての生活がスタートして5か月が過ぎました。この間、11月には3日間の特別国会、12月には2週間の臨時国会が行われ、その間には立憲民主党の新しい代表を決める代表選挙がありました。

特別国会は衆議院選挙が終わってから最初に行われる国会で、総理大臣を決める首班選挙が行われます。最初であるがゆえに、新人議員にとっては初登壇の国会になります。

私にとって国会は、25年前に小沢一郎先生の秘書をしていたときに仕事をしていた所なので見慣れた風景ははずでしたが、議員としてみる風景はその責任の重さから全く別の世界に感じました。

臨時国会では約36兆円という大型



初登壇にて

補正予算の審議が行われました。私たちがこの臨時国会で違和感を覚えたことは、約100兆円の一般会計予算を3か月かけて審議することと比べると、36兆円を2週間で審議することはあまりにも短すぎると思ったことです。コロナ対策のための補正予算とはいえ、半導体工場の補助金などコロナ対策以外の予算も多く組み込まれ、どさくさに紛れて利権をむさぼる自民党政権を私はさっそく目の当たりにしたのでした。この臨時国会では、私は早速でありましたが議員立法の提案者になりました。

その内容は一時的にガソリンの価格を下げる法案でしたが、岸田総理の反対でまだ目の目を見ておりません。そして、ここでも違和感を覚えたことは、「新しい資本主義で富を国民に分配する」と言っていた岸田総理の基本政策がまったく活かされてなかったことです。まさに今こそ、分配によりガソリン価格を下げる時だと思えます。それ実行しないことは、これまで

もアベノミクスのように耳障りのいい言葉ながら、実質賃金は上がっていないように実態は国民の暮らしを大切にしていなかった自民党のごまかしの政治を、岸田総理は変わらず続けていることを私は実感したのでした。

その後、年が明けた1月から通常国会が始まりました。通常国会では、来年度予算や法案審議や、国際情勢への国の対応などを決めていきます。期間は6月までの長丁場であり、まさに本格的な論戦が行われる国会となります。

私は2月16日の予算委員会分科会で、国会初の質問に立ちました。3月

からは、更に経済産業委員会での質問、法案の審議に関する質問を行うとともに様々な政策の提案や立案を行い、中小企業の発展に取り組んで参ります。

## まっすぐな政治を



重き第一歩です

私が先般の衆議院選挙で皆さんに申し上げていたことが「政治は暮らしを良くするためである」ということです。これは、私が県議会議員に立候補した時から一貫して訴え続けてきたことでもあります。一見、当たり前のことを申し上げているようですが、それが意味することは、政治が必ずしも国民の暮らしのために機能していないということなのです。

そう思う理由は、私が30年前に国会議員になろうと志し、その後、政治の世界に入り、利権にまみれ既得権益を優先する政治の舞台裏を見続けてきたからです。

だからこそ、政治を正す、政治を変えることが、私たちが抱え続けて居る暮らしの不安や不満を解消していく正道であると思っております。

これからも信念を貫き、政治の正道を作っていくためにまっすぐな政治を行って参ります！ 何卒、今後も末永いご縁とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

予算委員会で初質問

1月から始まった通常国会において、末次精一は2月16日に行われた予算委員会分科会において国会議員として初めての質問に立ちました。

今回の質問の分野は障がい者福祉に関することに絞り、質問に先立ち地元長崎の障がい者就労支援事業所から困りごとや厚生労働省への要望のアンケートをお願いしました。それを元に、改善点をまとめた上で政府へ質問を行いました。その内容は以下の通りです。

- ・制度運用の問題について質問
- ・職員の処遇の問題について質問
- ・人員配置の問題について質問

質問の最後に厚生労働大臣から、末次精一の意見に全く同感であるという答弁を頂きました。引き続き、元の皆さまの代表としての立場を貫き、まっすぐに政治活動を続けてまいりますので、温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



議員立法を提出

当選1か月後の12月7日、立憲民主党の一員としてトリガー条項凍結解

除を求める議員立法の提出を行いました。内容を分かりやすく解説しますと、高騰するガソリン価格を今より約20円引き下げるための法案です。国会議員の仕事の真骨頂が議員立法です。国民の暮らしを第一に考えることが政治の役割です。岸田総理はこの法案へ賛成はしておりませんが、ガソリンの高騰対策として1リットルあたり25円の補助金を出すことを決定しました。末次精一は「国民の生活が第一に考え、今後さらなる補助金に引き続き法案の成立を求めてまいります。」



経済産業委員会での質問

3月4日、末次精一は所属する経済産業委員会にて地域振興策とコロナ支援策について質問を行いました。その中で、大臣からの答弁として地域振興策に関しては「これまで以上に創業支援に力を入れていく」、コロナ支援に関しては「事業者への支援金を、これまで一律支援ではなく、事業規模に応じた支援モデルを構築できるように取り組んでいく」との答弁を引き出しました。末次精一はこれからも「活気ある街づくり」に向けて国政の場でしっかりと取り組んでまいります。



ポスター掲示のお願い



今年7月に行われます参議院選挙におきまして、長崎選挙区からは「白川あゆみ」さんが立憲民主党公認で立候補する予定です。また、比例区では参議院議員「青木愛」さんを応援しております。皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



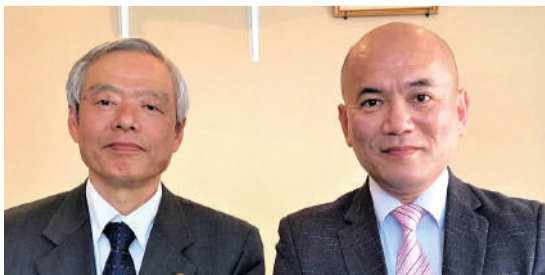
またポスター掲示にご協力いただける方は、事務所へご連絡をお願いいたします。

豆知識



国会には常会(150日)・臨時会特別会の3種類があり、その招集は内閣が決定します。招集とは衆参両院議員を国会に参集させ、国会を活動させるという憲法に定められている天皇の国事行為です。そのため、国会の初日には天皇をお迎えし開会式が行われます。そのお出迎えを、衆参両院が国会正門で行うのが通例になっており、末次精一も衆議院議員として参列しました。

スタッフ紹介



末次精一事務所のスタッフをご紹介します。(写真左)鴨川博明所長。(写真右)浦川栄一公設秘書。俵町の事務所に常駐しております。皆様、末次精一と共にどうぞ宜しくお願いいたします!



【佐世保・俵町事務所】  
〒857-0016 長崎県佐世保市俵町6-21  
電話 0956-37-3535  
FAX 0956-24-4811  
【東京・国会事務所】  
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1  
衆議院第一議員会館606  
電話 03-3508-7176  
FAX 03-3508-3606